

さくらプラザ主催・共催公演 ご予約・お問合せ
TEL:045-866-2501

※各公演の詳細はチラシまたはさくらプラザまでお問合わせください。
※チケットが完売している場合もございます。

好評発売中

●煌めくような名曲の数々をさくらプラザ・ホールでふたたび！
前橋 汀子 珠玉の名曲集 in 戸塚
9月12日(土)14:00開演(13:30開場)
チケット料金：一般 3,700円／横浜市民 3,500円／学生 1,500円
会場：さくらプラザ・ホール
出演：前橋 汀子 (Vn)、松本 和将 (Pf)
※一般チケット以外はすべてさくらプラザのみ取扱い。
学生チケット購入の際は引換時に学生証を必ずご提示ください。
この公演は学生応援プロジェクト対象公演です。

『前橋 汀子 珠玉の名曲集 in 戸塚』に関するご案内
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、お席の数を合計 [100席] に制限して予約のみ承ります。今後100席以上販売可能になった場合は、ホームページ、SNS、館内掲示等でお知らせいたします。座席は当日指定となり、公演10日前頃に座席番号案内を郵送いたします。(お客様による事前指定はできません)また、2枚以上予約された場合もソーシャルディスタンスをとった座席配置になります。※各プレイガイドも同様の対応となります。(2020.5.26 10:00 時点)

チケット発売情報【振替公演含む】

●名曲サロンVol.23 ヴァイオリン デュオ コンサート
8月20日(木)①11:30開演 ②14:30開演 ※各回 15分前開場
全席自由 各回 800円
会場：さくらプラザ・リハーサル室
出演：さくらプラザ サポートアーティスト
大澤 理菜子 (Vn)、早淵 綾香 (Vn)

電話予約開始
7月15日(水)14:00

●【共催】春風亭小朝 独演会
8月22日(土)14:00開演(13:30開場)
チケット料金：3,600円
会場：さくらプラザ・ホール
出演：春風亭小朝

電話予約開始
7月10日(金)14:00

●らららん♪ドレミ Vol.10 0歳から大人まで楽しめるコンサート
～Bambini(バンビーニ)が贈る真っ赤な秋～
9月23日(水)①10:45開演 ②12:00開演 ※各回 15分前開場
全席自由 各回 500円 (0歳から有料)
会場：さくらプラザ・リハーサル室
出演：Bambini (バンビーニ)

電話予約開始
7月15日(水)14:00

●鈴木理恵子 室内楽シリーズ Season2 Vol.12 (最終回)
ヴィヴァルディ「四季」
& バロックの名作とハンガリーの民族色溢れる傑作達
12月5日(土)14:00開演(13:30開場)
全席指定 一般 3,500円／ペアチケット 6,000円
学生 1,500円
会場：さくらプラザ・ホール
出演：鈴木 理恵子 (Vn)、デヴィッド・ノーラン (Vn)
安田 謙一郎 (Vc)、曽根 麻矢子 (Cemb) 他
※3/14(土)の振替公演です。

発売開始日
現在調整中

●気軽にモーツァルト！ピアノコンチェルトを弾き振りで！
10月17日(土) 17:00開演(16:30開場)
全席指定 一般 3,500円／横浜市民 3,000円
学生 1,500円
EX席(補助席・見切れ席) 1,000円
会場：さくらプラザ・ホール
出演：野田 清隆 (Pf/Cond)
サポートアーティスト／大澤 理菜子 (Vn)、早淵 綾香 (Vn)、増山 頌子 (Vc)
コンサートミストレス／菊川 穂乃佳 (Vn)
東京藝術大学音楽学部生、卒業生 他
※3/21(土)の振替公演です。

発売開始日
現在調整中

※一般チケット以外はさくらプラザ電話予約・窓口販売のみ取扱い。
学生チケットは購入時要学生証。

中止・延期情報

予定しておりました下記公演については、新型コロナウイルス感染拡大により中止となりました。

【自主公演】
●日本を代表するスーパー・テナー 福井敬 テノール リサイタル
6月13日(土)
●さくらプラザ オープンデー2020 真夏のこども探検隊
7月18日(土)
●今日からあなたもオペラデビュー
60分で味わうオペレッタ「こうもり」の魅力
トークとドイツ語歌唱によるプレコンサート
7月23日(木・祝)
●さくらプラザオペラシリーズVol.2
日本語で味わうオペレッタ「こうもり」～台詞付きハイライト上演ピアノ伴奏版～
11月21日(土)

【共催公演】
●ホット&ハートフル Vol.44 ～オペラの中の女たち その2～
9月27日(日)

●コンセール・アミティエ 歌声サロン plus ミニコンサート付
次回2021年3月23日(火)予定 ※2020年5月～2021年1月の公演はございません。

新型コロナウイルスの感染拡大状況によって予定が変更になる場合がございます。最新情報につきましては、さくらプラザ ホームページ、もしくは主催者にお問い合わせください。

102
cafe

102cafe
戸塚区総合庁舎3階
営業時間：10:00～22:00

フルーツ&ケーキの店

T-Berry

豊田 屋

トツカーナモール店 3F 881-0066
矢 沢 店 881-0234
※ティールームご利用ください

額縁・画材・絵画
いつも全品割引!!
戸塚ギャラリー
月曜定休 045-871-0980
さくらプラザより徒歩3分
旭町通り横浜信金隣り

編集後記：新型コロナウイルスの影響で当館の月間スケジュールも規模の縮小を余儀なくされました。誌面としては小さくなってしまいましたが、めげずに一層戸塚を盛り上げていけるようにがんばります！(小野)

戸塚区民文化センター さくらプラザ

TEL：045-866-2501
FAX：045-866-2502
開館時間 9:00～22:00
(受付時間 9:00～21:00)

3F 4F

東急プラザ
トツカーナ

西口

戸塚駅

至大船

至横浜

総合庁舎内 3F ギャラリー／4F ホール

〒244-0003 神奈川県横浜市戸塚区戸塚町16-17 戸塚区総合庁舎 4F
https://totsuka.hall-info.jp
info@totsuka.hall-info.jp

2020.6.10 発行
戸塚区民文化センターさくらプラザ
※この掲載内容は 2020 年 5 月 30 日
時点での情報です

休館日：原則毎月第 2 火曜日、年末年始

横浜市戸塚区民文化センター さくらプラザ月間スケジュール&情報誌合併号

SAKURA

Vol.42

7月号 (6月10日発行)

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、当面の間、さくらプラザ発行の『月間スケジュール』と『情報誌「SAKURA」』は合併号として発行いたします。

SAKURA PLAZA Monthly Schedule 2020.7

4F ホール

●バンドネオン&ピアノ・チャリティコンサート
7/4(土)14:00開演 (13:30開場)
蛇腹の楽器バンドネオンとピアノによるタンゴのコンサート
【出演】仁詩 (Bn)、須藤 信一郎 (Pf)
【曲目】アルゼンチンタンゴの名曲
【チケット代】全席自由 前売：1,500円 当日：2,000円
【お問合せ】ヒラルディージョ 070-6632-8367 (大森)

4F リハーサル室

●うたごえ広場・戸塚
7/11(土)10:00開演(9:40開場)
名曲やポピュラー曲を歌う。プチコンサート付き。指導有り(要予約)
【出演】田原 真理子 (Pf)、城至 麻奈子 (Sop)
【曲目】夏の思い出、少年時代、恋は水色、ローレライ、ビリーブ 他
【チケット代】全席自由 一般：1,000円(初回500円) ※要事前申込
【お問合せ】うたごえ広場 戸塚 0466-50-1864 (田原)



3F ギャラリー

●みずえの会 水彩画展
7/7(火)～7/13(月)
10:00～17:00(初日13:00～／最終日～16:00)
個性を生かした楽しい水彩画教室の作品を展示。
【お問合せ】みずえの会 045-861-8438 (坂井)

A B
水彩

●「光とその色を求めて」亀谷 進 油彩画展
7/23(木・祝)～7/26(日)
10:00～18:00(最終日～17:00)
グリザイユ画法をはじめ種々の技法での静物・風景油彩画40数点。
【お問合せ】とつかアートプロジェクト 090-2543-1320 (亀谷)

A B
油彩

※表記が無い場合は無料で入場いただけます。

新型コロナウイルスの感染拡大状況によって予定が変更になる場合がございます。最新情報につきましては、さくらプラザ ホームページ、もしくは主催者にお問い合わせください。

《さくらプラザホワイエから見た夕暮れ》

ホール・ホワイエの中から2階へ上がる階段の右手ガラス一面に施されたアート作品をご覧ください。これはありますか？こちらは神奈川県出身の曾谷 朝絵(そや あさえ)さんのパブリックアートです。(作品名「Ringin」サイズ8m×8.7m)
曾谷さんは、個展、グループ展、建物へのパブリックアートなど精力的に活動されており、数多くの受賞歴を持つ優れたアーティストです。こちらの作品は、まるで音の波紋が互いに響き合うようなイメージを感じさせてくれる大変美しい作品です。天気によってその表情を変えるところも大変魅力的です。ホールにご来場の際は是非ご鑑賞いただければと思います。
曾谷 朝絵さんのホームページは以下からご覧になれます。素敵な作品をたくさん鑑賞できますので是非ご覧ください。
<http://www.morning-picture.com/>

●7月の休館日：14日(火)
●さくらプラザ施設のご予約方法
▶横浜市市民利用施設予約システム
【TEL】045-754-4919
【HP】<https://yoyaku.city.yokohama.lg.jp/ys/>

▶さくらプラザ
【窓口】戸塚区総合庁舎 4F

●7月の抽選申込月：2021年1月利用(ホール・ギャラリー)
抽選申込できない日→ ホール 1日(金)～3日(日)、4日(月)(9:00～12:00)、7日(木)、9日(土)、12日(火)、13日(水)、18日(月)、21日(木)9:00～17:00、25日(月)～29日(金)、31日(日)
ギャラリー 1日(金)～4日(月)、12日(火)、27日(水)～31日(日)

※変更になる場合あり。詳細はお問合わせください。

■ご予約には「はまっこカード」IDが必要です。 ■ホール・ギャラリーは空き区分に限り、個人登録での利用申込も可能です。
■窓口でのご予約の場合は施設利用料のお支払いを伴います。 ■詳しくはさくらプラザまでお問合わせください。

編集・発行：戸塚区民文化センター さくらプラザ 指定管理者：アートプレックス戸塚株式会社 運営企業：株式会社共立

月間スケジュール・情報誌合併号に寄せて

この度の新型コロナウイルス感染拡大防止の措置として、2月より自主公演の中止、延期並びに施設の貸出を停止させていただいており、文化芸術の拠点としての役割が果たせず大変心苦しく思っております。地域の皆様、公演を楽しみにしていただいている皆様には申し訳ございませんが今しばらくお待ちいただきたく存じます。今後のさくらプラザはホールを飛び出し、戸塚の地域ともっと深く関われるような企画を考えています！さくらプラザからのお知らせは、ホームページやSNSなどを通じ発信させていただいております。情報誌についてはしばらくの間、月間スケジュールとSAKURAを合体させた特別編お届けします。ご意見、ご要望、感想などお寄せいただければ幸いです。

2020年5月 さくらプラザ館長 小林 君江

※6月1日より施設貸出を一部再開、および受付を通常営業しております。

地域のイマ、とコレカラ...

新型コロナウイルスによって戸塚の人々のイマがどのように変わったか、コレカラどうなっていくかインタビューを通じて見つめます。第一回目は認定特定非営利活動法人こまちぶらす（以下こまちぶらす）の森 祐美子さんにオンラインにてインタビューを行いました。多方面に活動を広げる森さん。今回はコロナによって起きた意外な変化や、森さんの考える街づくりに関してお話を伺いました。



森 祐美子さん

ーこまちぶらすの活動に関して教えてください。

森 祐美子（以下、森）：こまちぶらすは2012年2月に立ち上がりました。大きな事業としては、戸塚駅そばにあるこまちカフェを運営しています。『子育てをまちでプラスに』の合い言葉をコンセプトに、子育てを街全体で行えるような社会を目指して活動をしています。もともと法人設立のきっかけが、私自身の初産の時に子育てで孤立感を感じたことが原点でした。ですので、そのような孤立感を解消できるような仕組みをこまちぶらすで作っていかねばと考えています。

ーコロナによって“関わり方”にどのような変化が起きましたか？

森：近所の皆さんとの関わりが不思議とすごく増えました。こまちカフェはコロナの影響で店内では何もできませんでしたが、外でマスクを販売したり、お花や雑貨を売ったりすることで新しい関係性が生まれたと思います。



5月時点でのこまちカフェの様子。密を避けるため来店を各時間帯に1組に限っていた。



↑詳細版を当館ホームページからご覧ください

ーコロナ以降、戸塚を盛り上げるためにさくらプラザはどのようなことができるのでしょうか？

森：戸塚全体を考えるとというのは、なかなか難しいことだと思います。それぐらいに戸塚って大きい単位なんです。そう考えたとき、地域の中に自分が安心して過ごせる小さなコミュニティだったりと、自分の居場所だと感じられる人たちの場を一人一人が持ち、そんな場所が地域中に点在していると良いと思うんです。そういうコミュニティを交差させる機能は、さくらプラザにもあるかもしれないですね。

（取材・文章：小野 良）

音楽の隠し味 op.7

このコーナーでは、作曲家や有名曲の意外な一面を知ることのできるクラシック音楽をより楽しめる「隠し味」をご紹介します。

第7回目は ブラームス です。

ドイツで活躍した作曲家で「ドイツの3B」として、同じ頭文字「B」のバッハやベートーヴェンと並んで讃えられていますが、実は彼が活動していた19世紀後半では、作曲家達は皆気軽に曲を書けないことが大きな悩みでした。なぜなら、新作を書いてもベートーヴェンと比較され、批評家にボロボロに言われてしまうことが目に見えていたからです。そこでブラームスは、過去の作品を徹底的に研究し、論理的なスタイルで作曲することにより評価を得ていきました。試行錯誤が繰り返された奥深い楽曲は、今も愛され続けています。

今回はそんなブラームスの「厳しいレッスン」が隠し味です。彼の弟子とのやり取りを通じて、作品へのこだわりを見てみましょう。当時、作曲家は作品を書くだけでなく、次世代に繋がる弟子をとり、その受講料で生計を立てる事が普通でした。しかしブラームスは、作曲で十分なギャラを貰えており、自身の音楽活動に専念したいという考えから、弟子を取りたがりませんでした。

そんな中でたった1人だけ、弟子になる事が出来たイェンナーという青年がいます。

作曲家を志していたイェンナーは「是非自分の作品への感想をいただきたい」と、当時から評判だった偉大なるブラームスに会いに行きました。元々彼の作品を見たことがあり好感を持っていたブラームスは、快くレッスンを引き受けます。

そうして始まったレッスン初日、ブラームスは既にイェンナーの作品をくまなくチェックしていました。弟子は、師匠のどんな曲でも真摯に受け止める姿勢に感銘を受けました。それからも、事前に細かく調べていない作品を教えてもらう事は一度もなかったそうです。

暑い季節となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

タケの「戸塚今昔物語」第2話は「東と西」の続きのお話です。第1話では「東と西」をつなぐ、踏切、地下道から姿を消した踏切の話をしました。続く第2話は地下道の話しましょう。

柏尾川横の地下道には「第2倉田川架道橋」の名があるそうですが、当時の地下道は今のような天井が高く、明るく広い地下道とは全く別物でした。東側からの入口はコの字を描くように地下道へ下りるのですが、迷宮へと続くのではと思ってしまう不思議な存在でした。その内部の天井は低く、身長が170cmあれば簡単に手がとどいてしまうような低さだったと記憶

（イラスト：山上 由布子）

レッスンは非情なまでに厳しく、弟子は何度も目に涙を浮かべました。それでも青年は師匠についていきたいと切確琢磨します。どんなに厳しい事を言われても、皮肉や意地悪な事は無く、全て善意からくる言葉だと分かっていたからです。

前述の通り、ブラームスは音楽を論理的に作るということを徹底しました。土台が不安定だと、どんなに綺麗なメロディーでも魅力的にならないからです。彼は弟子が作ってきた曲を見て「論理的に」間違いを指摘し、なぜ間違えているのか理由も必ず一緒に教えました。ただ、その指導は非常に辛く、日を増すごとに陰しさも増していきます。ある時は、イェンナーが自信を持って提出した曲に対して「いいところなど何もない」と言い放つことがありました。またある時は、一度ダメ出しされた曲に手直しをしたものが再提出されたことに対して「新しい曲を持ってこい」と不機嫌になったこともありました。ブラームスは「一度完成してしまった曲を手直しして良くなる事は稀で、大抵は悪くなる。毎日新しい曲を生み出し続けることが『仕事』なのだ。」と言っており、「ペンは書くためでなく、消すためにある。」と繰り返していたといひます。

ブラームス自身も、曲の中で辻褄が合わない点があることや、曲の終わりがこじつけのようになってしまうことを少しも許せませんでした。自身の作品が何曲燃やされたのか分からない程、書いては消す事を繰り返したのです。彼はいくつもの失敗を乗り越え、膨大な時間をかけて名曲を生み出していました。

だからこそ、彼の作品の構成力と奥深さは今でも色褪せることがありません。ブラームスの「厳しいレッスン」は作品の隠し味となっているのではないのでしょうか。

しています。さらに地下道内は途中で道がクランクしているため、出口が見えないうえ照明も暗く、ここを通行するのには少々慣れが必要だったのではないかと思います。

そうそう、通行の際に大きな声をだすと、筒のような内部のためか、とても声がよく響きました。そういえば、路面に滑り止めのスノコが敷いてあり、冠水するとスノコがプカプカ浮いてしまい、通行できなくなりました。ちなみに、自転車での通行は階段があり幅も狭いため無理だったと思います。途中、西口側の拡張工事なども行われましたが、現在、この地下道の面影は東西ともに全くありません。

私が東と西をつなぐ地下道で最も利用したのが「豊田川架道橋」という

ピアニスト 白川 優希

横浜市立南高等学校普通科卒業。桐朋学園大学ピアノ科卒業。これまでに井上節子、川島伸達各氏に師事。阪急交通社「たびコト塾」有料音楽講座にて講師兼演奏。

メディア

- ・NHK BSプレミアム 特別ドラマ「黒蜥蜴～BLACK LIZARD」ピアノ演奏。
- ・テレビ朝日系列「はじめまして、愛しています。」ピアノ監修。
- ・フジテレビ系列『世にも奇妙な物語「シンクロニシティ」』ピアノ協力（自身出演・演奏）。



ブラームス

⑪ おすすめの一曲

ブラームス / 交響曲第2 番

巨匠ベートーヴェンが亡くなってから、音楽界隈では「これから良い交響曲なんて生まれるのだろうか？」と絶望を感じていました。名だたる作曲家も交響曲（オーケストラで演奏される大規模で長大な曲）というジャンルだけは避けるようになっていたのです。そんな中で、生涯諦めずにこのジャンルに取り組み続けたのがブラームスです。彼が「交響曲」を発表するまでに、なんと40年もかかっています。交響曲第2 番は、明るいついで当時の人々の心を掴みました。初演は不成功。拍手喝采が鳴り止まなかったそうです。全楽章聴くと40分かかるので、まずは作業用として少し軽やかな気持ちで聴くと楽しめるのではないかと思います。何度聴いても論理的で奥深く、もっとこの曲を知りたいと思えるような作品です。『Brahms Symphony 2』で検索するといくつかの音源が見つかるので是非聴いてみてくださいね。

※参考文献
日本ブラームス協会(1997)『ブラームスの「実像」』音楽之友社
門馬直美(1999)『ブラームス』春秋社
ウォルター・フリッシュ/天崎浩二訳(1999)『ブラームス4つの交響曲』音楽之友社
作曲家別名曲解説ライブラリー(1993)『ブラームス』音楽之友社
渡辺茂(1995)『ブラームス』芸術現代社

音楽に酔う！ vol.7

作曲家ゼミソン・ダリルの聴き飲みメモ

ステイ・ホーム…演奏会が開催されないこの大変な時期、それでも世界中の音楽愛好家はライブで音楽を聴きたいでしょう。活動を自粛しているのは聴衆だけではありません。演奏したくてたまらない演奏者もいます。ですから今はインターネット上で沢山のパフォーマンスを聴くことができます。さくらプラザでコンサートを開催できない今、このコラムではインターネットで簡単にアクセスできる無料の音楽を紹介し、そして（無論！）聴きながら楽しめるアルコールもご紹介したいと思います。

（1）メニコ・スカララッティは鍵盤のためのソナタを555曲も作曲した、初期古典派を代表する作曲家。イギリス人ピアニストのマーク・ヌーブ氏がほぼ毎日、その555曲の中からランダムに一曲を選び、練習し、SoundCloudに投稿しています。ヌーブ氏は現代音楽の専門家なので、スカララッティのソナタをきちんと奏でながらも、新しいエネルギーを持って、対位法の多声を巧みに、はっきり演奏しています。イタリア人ですが、スカララッティは大部分のソナタをスペイン・マドリッド市で作曲しました。ヌーブ氏のフレッシュな演奏を聴きながら、すっきりした「En Rosado」という最近流行りのスペイン産オレンジ・ワインを飲んでみましょうか。

（2）他の中小企業と同じように、今大変厳しい状況にあるクラフトビール醸造所もサポートしたいと思います。私の住んでいる逗子の地ビールはYorocco Beerという醸造所で作られています。ここが最近、トロントのGodspeed Beerとコラボレーションして作った、「Time is Money」というライトな、ドイツ風ヘレスビールをオンラインで売っています。トロント在住のカナダ人ピアニストのシェリル・デュヴァル氏は、最近日本人が作曲した作品をよく演奏していますが、4月26日に自宅コンサートをFacebookでライブストリーミングしました。鈴木琴香氏の曲を含む、いずれも「水」に関する5つの作品を演奏します。

さあ、乾杯！



第2倉田川架道橋 （以前の面影は全くない）

★次回は「ゆめの楽園」をお題にしたいと思います。

五十嵐 武 Takeshi Igarashi

生まれも育ちも戸塚の区民。ラストステージは縁あってここ戸塚で働くことに。